

子育て世帯支援給付金、対象拡大を検討へ

10月31日に行われた臨時議会の
続報です。



日本共産党議員団の平良本哲也議員は厚生常任委員会で、「灯油購入費助成事業だが、今年は状況が変化し、価格だけは確実に上がっている。今後、積み増しなども含めて、さらに状況をよく精査して考えていただきたい」「(子育て世帯への支援給付金については、平成16年4月2日から令和5年2月28日までに生まれた18歳までの児童を対象としているが)すでに妊娠されている場合は、2月28日を超えて、出産する場合もある。3月末までとするのが市民感情だ。何とか工夫できないか」などと質問しました。



り物価高騰の助けになると思っている」「子育て世帯への給付金は市独自制度でもあるので、今後柔軟に検討していきたい」と答えました。今後の動きに注目です。

また、日本共産党議員団の上野公悦議員は文教経済常任委員会で、大湯区の工業団地や飲食業の人の声を紹介しつつ、「ここへ来て、9月10月の大幅な高騰があり、今後電気も上がる。国の政策に対応し、市独自でも、それこそ財政調整基金を取り崩して、本当にその半分ぐらい取り崩して、支援を強化する方向が必要ではないか」と質問しました。

これに対して市側は、「物価高騰支援金は今日締め切りだ。後半に入ってきてかなり申請が増え、予算以上になってくるのかなと思っている。今後、適時適切に考えていきたい」と答えていました。



市村幸恵さん、3年ぶりに上越で

【お茶の花】ツバキ科のお茶の木の花を見ることがあります。私は長年にわたり、春に咲くものと思い込んでいましたが、9月～11月が花の咲く時期なんですね。花は白く小さな花です。がくは緑色で4～5枚、花弁は白く、6～7枚あります。茶席に活かされることもあります。花言葉は「追憶」「純愛」です。写真は10月22日、吉川区入河沢にて撮影。



11月4日、吉川区出身のピアノ・市村幸恵さんとシユターミッツ弦楽四重奏団のコンサートに行ってみました。

市村さんのピアノを聴くのは3年ぶりです。今回は世界的に有名なシユターミッツ弦楽四重奏団とのピアノ五重奏をじっくり聴かせていただきました。

五重奏曲はアントニン・ドヴォルジャークの「ピアノ五重奏曲 第2番」。最高傑作を生演奏で聴けたのは幸せです。

ウクライナに思いをはせた市村さんのスピーチも良かったです。

はしづめ法一の活動レポート

No.2085 2022.11.13

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七三二回 一か月目の日に

母が永眠してからもう一か月が経ちました。時が経つのは早いものだと思います。

まだ、やっておかなければならないことと、整理しなければならぬことはいくつもありますが、ほぼ普通の生活に戻ってきました。

ちょうど一か月目の八日は、晴れたり、曇ったり、この時期としてはまずまずの天気でした。

午前に柿崎区でちょっとした用事を済ませ、午後からは三時間ほど吉川区にいる時間がとれました。

気になっていたのは、Kさんからの電話です。「美男力ブラが赤い実をつけていますよ。わが家のそばを通ることがあったら見ていってくんない」という案内でした。

雨も降っていないし、「写真を撮るならお留守でした。美男力ブラ（サネカブラが正式名称）は言うまでもなく外にあり、家のそばに植えられています。屋根下のものは昨年と同じ橙色でしたが、垣根になっているところは、真っ赤な実がたくさん生っていました。「なるほど、熟すとこんな感じになるのか」と感心しながら何枚か写真を撮らせてもらいました。

撮り終わって車に乗り込み、少し走ったところで、左前方百歩ほどの田んぼの中にコウノトリの姿を見つけました。それも四羽もいます。今年になって、これまで見てきたコウノトリは二羽でつがいでした。「この二羽以外にどんなコウノトリが来ているのだろうか」と、撮影をしました。

そこへKさんから電話が入りました。「いま、コウノトリを撮っているんですよ。ここから見えるの。Hさんとここでお茶飲んでるし、来なんない」と誘われました。コウノトリには逃げられたこともあり、「じゃ、顔、見に行きますか」と言っていて、Hさん宅へ車を走らせました。

Hさん宅の玄関まで行って、居間の上からせもらったら、私がコウノトリを撮っていた場所が窓からよく見えます。でも、よく遠く離れた私を確認できたものです。

KさんとHさんによると、ちょうど私のことが話題になっていたとのことでした。そのとき、偶然にも私の車の色がKさんの目に入ったようです。

Hさんは最近、遠くの友人に私の随想集の一冊を送ったところ、喜んで読んでもらっているとか。「お宅のお母さん、幸せだったと思いますよ」などと母の介護のことについても語ってくださいました。

Kさんは美男力ブラの実の色の変化やお連れ合いの絵画作品について語るとともに、目の前に出されている干し柿について、「やわらかで美味しいときに冷蔵庫に入れて保存するのもいい」などと教えてくださいました。

美味しいハヤトウリの漬物や干し柿などをご馳走になっていたら、ちょっと顔を見てお暇するどころか、三〇分近くも経っていました。それだけ楽しかったのです。

この日はその後、郵便局や住宅などを訪問し、いつもよりも早く帰宅しました。皆既月食を見たかったし、NHKの「うたコン」で大好きな小椋佳の歌を聴きたかったからです。

夜は、コタツに入ってテレビを観ているうちにいつの間にか眠ってしまいました。

母が元気だったころだと、コタツのところまでやってきて、「とちゃ、風邪ひくなや」と言ってくれました。風呂から上がるときは、素っ裸のまま、着るものを両手で抱いて、「風呂あいたよ、とちゃ、早く入って寝ろや」と声をかけ、自分の寝室へ入っていきました。

「よし、起きよう」自分で気合を入れ、母と一緒に寝ていた部屋へこの日も行って寝ましたが、その母はもういません。

私、おじいちゃんの耳と口になる

高田文化協会事務局長の河村一美さんが祖父である横尾義智旧小黒村長との思い出を語るというので6日、安塚区の文化講演会に行ってきました。

河村さんは6歳の時に、「私、おじいちゃんの耳と口になる」と決意したということですが、今回の講演でも祖父の横尾義智さんに対する深い愛情を感じました。これまで、私は、ろうあの人がどんな風にして村長を務めたのだろうかという疑問をもっていました。今回の話を聴き、その疑問は解けました。妻であるおばあちゃんをはじめ、周りの人たちが献身的に支えてきたんですね。義智さんはそれだけの人物だったということです。

でも、河村さんは、おばあちゃんの葬儀の時の義智さんの強引なふるまいなどにも触れて、祖父のありのままの姿を語ってくださいました。おかげでろうあ村長の人となりを知ることができました。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月2日(水)	11月9日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.053	0.060
東頸消防署	0.047	0.043
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.053	0.047